令和６年度　河頭中学校２学期学校評価

※2学期を振り返りって「本年度の重点目標」について達成度を4段階で自己評価してください。

評価　　４　十分にできた　　３　ややできた　　２　あまりできなかった　　１　できなかった

番号	本年度の重点目標	R6 1学期	項　　目	評価
1	確かな学力を身に付けさせる	3.0	諸調査・検査等から実態把握と課題の明確化を迅速に実施したか。	3.3
		3.1	明確化した課題解決の具体を授業での実践や家庭学習の充実に繋げる支援や啓発を行ったか。	3.3
		3.4	TT指導や少人数指導等による知識・技能の定着を図ったか。	3.8
		3.0	個別指導・補充指導の充実によって個々の伸長を最大限図ったか。	3.2
		3.0	「河頭スタンダード」を取り入れた授業実践を進め，授業充実の３アクション（目標の明確化，山場の工夫，確かめと見届け）を実践したか。	3.2
		2.9	学習の躾の徹底，主体的な態度の育成（「学習の手引き」の活用）を進めたか。	3.2
		3.2	ツールとしてのICT活用の機会を増やしたか。（学期１以上の実践）	3.8
2	体力，健康・安全に関する知識・習慣を身に付けさせる	3.0	教科・領域等との関連を図りながら，食に関する指導，性に関する指導，喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育，心の健康や生命尊重等の充実を図ったか。	3.4
		3.0	新しい生活様式を取り入れた衛生習慣を確立させることができたか。（感染症予防）	3.4
		3.2	一校一運動（ランニング，キャプテン会議等）による体力向上やケガ防止を図ったか。	3.4
		3.1	教科体育を充実し，自ら運動に親しみ実践していく能力や態度を育んだか。	3.5
		2.9	早寝・早起き・朝ごはん運動，むし歯治療率の向上など，家庭と連携した指導・啓発を実施したか。	3.5
3	全教育活動を通した道徳教育を充実させる	3.0	特活や他の教育活動との関連を図りながら，道徳的な実践に結びつく横断的な道徳教育を推進したか。	3.2
		2.8	道徳科授業の指導方法と評価の見直しを行ったか（一単位時間の指導過程及び評価）。	2.8
		3.2	命の尊さ，思いやりの心の育成に特化した「いじめ問題を考える週間」の取組を意識化できたか。	3.2
		3.1	「人権教育は，全ての教育の基本である」ことを認識する研修を実施し，人権感覚を醸成する学級・学校づくりを意識して実践したか。	3.3
4	不登校の改善・解消を図る	2.6	命の教育（自殺防止教育，ストレスマネジメント等）を継続・充実させたか。	2.8
		2.5	個別支援計画を基に，家庭・関係機関と連携して学校全体で対応できたか。	2.5
		3.0	新規不登校事案予防のために早期発見・対応をとったか（対策委員会の継続審査）。	3.1
		3.2	教育相談やケース会議での情報を共有したか（対策委員会での継続審査）。	3.4
		2.9	関係施設・SC・民生児童委員・市教委等との連携実践を行ったか。	2.9
		3.1	傾聴，受容，共感に基づく生徒理解を深めるための研修の充実を図ったか。	▲2.8
		2.7	河頭中地区青少年健全育成連絡協議会の充実を図ったか。	3.3
5	いじめ問題や問題行動への対応と予防を図る	3.4	観察・アンケートを通して，いじめ問題の早期発見・早期対応を行ったか。	3.6
		3.3	生徒指導委員会を中心に共通理解・共通実践を行ったか。	3.3
		3.1	生徒理解に基づいた生徒指導を推進したか（問題行動や不登校などの未然防止）。	3.2
		3.0	生徒会・学級活動を通して自治意識を育み，自浄作用を図ったか。	3.3

6	特別支援教育の充実を図る	3.0	全職員の共通理解・共通実践ができる校内支援体制を確立できたか。	3.5
		2.8	個別の支援計画の作成及び支援の在り方の研究・実践を進めたか。	▲2.6
		3.0	指導法や支援の在り方を模索・検討し，特性を伸長する教育を行ったか。	3.0
		3.1	特別支援教育支援員との連携，協働を強く図ったか。	▲3.0
		3.1	教育支援委員会の定例実施で，学びの場・指導方法の確認を行ったか。	3.5
7	進路実現をさせ，キャリア教育の充実を図る	3.3	職場体験，職業講話，高校訪問，専門校フェスタ等の体験をとおして，生徒に具体的なビジョンをもたせることができたか。	3.4
		3.1	生徒に上級学校や職業など，中期・短期の目標を設定させることができたか。	3.3
		2.9	目標の達成に向かう筋道を学ばせるための助言や情報を与えることができたか。	3.3
		2.7	進路情報の収集・整備，定期相談等を系統的・継続的に行ったか。	3.2
8	安心・安全な学習環境を整える	2.5	安全点検の結果を即時対応・改善することができたか。	3.5
		3.2	避難訓練をとおして，危機意識の高揚と新しく正しい知識，実践力を身に付けさせることができたか。	3.3
		2.8	グリーンクリーン週間（一人一鉢）等の取組で花いっぱいの学校にできたか。	▲2.6
		2.5	水害被災地区の教訓を伝え，生かすことができたか（校区安全マップの点検）。	2.8
		2.9	合理的配慮に基づいた設営と新しく正しい知識・情報を伝える掲示を心がけたか。	3.2
9	ICTを活用した活動拡充を情報モラルの育成を図る	3.1	GIGAスクール構想の推進を図ったか（タブレット端末活用による授業活用例を増やす）。	3.5
		2.9	個人情報保護マニュアルの作成，情報保護管理体制の整備を進めたか。	3.2
		2.9	情報モラル教育の年間指導計画の作成と情報モラル教育を進めたか。	3.4
10	開かれた学校づくりを推進する	3.2	HPや学校だよりでの定期的な情報発信を行ったか。	3.6
		3.0	例えばエイサー披露を手段として，校区内外への貢献を進めたか。	3.5
		2.8	コミュニティー・スクールとしての準備を進めたか（学校運営委員の選出，職員のコミュニティー・スクール理解　等）。	3.3
11	まず職員が心身ともに健康で，服務規律を確保した上で実感できる業務改善を行う。	3.0	参加的な研修やSee-Smileでの定期的な情報提供を行い，法規等に基づいた服務の理解を進めることができたか。	3.2
		2.8	学校だよりやHPで業務改善の具体を保護者に理解してもらう取組を行ったか。	3.3
		2.6	業務改善係を管理職以外に設定したか。	3.0
		3.2	月１回以上の年休取得の目標提示と達成を図ったか。	▲3.0
		3.0	年休を取得しやすい日課表を活用したか。	3.2
		3.3	紙やインクを減らしたり，節水・節電したりする日常を意識化できたか。	3.3

【自由記述欄～各項目についてのご意見・反省等も含む】

・１学期も書きましたが，教職員の「時間を守る」という意識が薄いと思います。授業前も，授業終わりも。3分前着席，1分間黙想の見届けを授業担ができているでしょうか？全職員の共通実践が無ければ，「〇〇の授業の時は急がなくても良いや」「前の授業の終わりが遅れたから」などと，生徒がルーズになってきます。大人が模範を示しましょう。
・行事反省など教職員へのアンケート類の提出率が低い＆回答期限が守れていない。忙しいのはわかりますが，係の先生が一生懸命取り組んだり呼びかけていることに対して，無関心・非協力的な姿勢であることが悲しいです。
・生徒会行事，学校行事，総合的な学習の時間の活動等，本校の生徒は実直によく取り組み，素晴らしい発表ができている。個々の生徒の可能性を引き出し，伸ばす観点から先生方が積極的に関わり指導いただいたおかげだと感謝します。
・様々な場面で心身共に個々の生徒の成長を感じる2学期でした
・エイサー出演の地域行事の精選、もしくはそれを踏まえた計画を立てないと，学校の教育活動に支障がでてきている。
・ 時間割に多少の偏りがありましたが、2学期の予定時数はクリアできました。ご協力ありがとうございました。年休や出張などで不在の場合は、ミス防止のため、メモに加え、一言お声がけいただけると助かります。（教務）
・公文を受け取っておらず、急な時間割調整をせざるを得ないときが何度かありました。基本的には管理職から公文の写しを受け取ることになっていますが、自主教育団体などからの公文が漏れがちです。管理職を介さないものがあれば、直接いただけると助かります。（教務）
・テスト3日目まで部活動を停止にしたらどうか。
・文化祭の昼食は「お弁当」でよいのでは。
・生徒の呼称は統一した方がよいと思います。小学校と中学校で呼称が違うと生徒も戸惑います。たとえ職員室であっても呼び捨てやちゃん付けは聞いていてあまりいい気持ちはしません。
・朝の健康観察の集計が１校時休み時間までに終われるようになりました。健康観察後に登校してくる生徒の遅刻時間・早退時間がホワイトボードで確認できるようになりました。担任の先生，学年部のみなさん，ありがとうございます。